

2017年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2017年5月30日(火)18:00～20:16

場所：聖路加国際大学 1階 大会議室

議長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡弥恵子、鶴若麻理、小野若菜子、小林京子、縄秀志、高橋奈津子、宮坂勝之、松井陽、小松康宏、中村めぐみ、神里彩子

欠席委員：墨岡亮、鐘ヶ江真知恵

(出席者 11人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)、司会:委員長 片岡 弥恵子

① 亀井 智子(老年看護学 教授)

「多世代交流型デイプログラム参加者に関する混合研究法を用いた心身社会的変化の長期的評価」

研究責任者(亀井 智子教授)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

② 高妻 美樹(精神看護学 修士課程)

「入退院を繰り返す精神障害者が地域の定住場所へ抱く想い」

研究責任者(高妻 美樹氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

③ 田中 悠夏(在宅看護学 修士課程)

「脳卒中による片麻痺のある独居高齢者が退院後の排泄動作を獲得するまでのプロセス」

研究責任者(田中 悠夏氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

④ 河田 萌生(老年看護学 修士課程)

「経鼻胃管挿入中の高齢脳血管疾患入院患者における絶食状況と絶食に伴う苦痛の関連性の検討」

研究責任者(河田 萌生氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

⑤ 高梨 奈保子(急性期看護学 修士課程)

「胸部ステントグラフト内挿術を受ける高齢患者の周術期フレイルに対する看護介入プログラムの作成と実践を通しての汎用性の検討」

研究責任者(高梨 奈保子氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

⑥ 岡 美雪(助産学 博士後期課程)

「妊婦健診における看護師とのコミュニケーションの向上を目指した女性グループ介入の実行可能性の検討」
研究責任者(岡 美雪氏)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

⑦ 蛭田 明子(助産学 助教)

「認知行動理論に基づく周産期喪失のケアにおけるコミュニケーションスキルプログラム:看護師を対象としたランダム化比較試験」
研究責任者(蛭田 明子助教)より、研究の概要等について説明が行われた。
質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 承認

2. 審議事項:計画変更について 司会:委員長 片岡 弥恵子

① 審査番号 16-A076:中田 かおり (助産学 博士後期課程)

「仕事復帰後の母乳育児継続を目的とした出産後の女性に対するプログラムの評価」

事務局より、計画変更の概要について説明が行われた。
委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

3. 審議事項:継続審査について、司会:委員長 片岡 弥恵子

① 審査番号 15-A034:萱間 真美 (精神看護学 教授)

「精神科重症患者早期集中支援管理料」に関する実態調査」

② 審査番号 16-A017:川添 いづみ (助産学 修士課程)

「産後尿閉のリスクファクターの探索」

③ 審査番号 16-A025:太田えりか (国際看護学 教授)

「水俣市保健所母子健康記録表調査」

④ 審査番号 16-A083:太田えりか (国際看護学 教授)

「妊産褥婦の自殺にかかる状況及び社会的背景の調査」

⑤ 審査番号 16-A085:小林 京子 (小児看護学 教授)

「小児専門看護師の移行医療提供に関する調査」

⑥ 審査番号 16-A094:猪飼 やす子 (老年看護学 博士後期)

「在宅療養中の特発性肺線維症患者の実存的苦痛に関する質的研究」

⑦ 審査番号 16-A061:小林 京子 (小児看護学 教授)

「小児脳腫瘍経験者の認知機能障害に伴う日常生活と学校生活困難に対する支援構築」

- ⑧ 審査番号 16-A058 菊田 文夫 (その他 准教授)
「プロジェクトアドベンチャーの概念を内包した森のようちえん保育者養成教材の開発」
- ⑨ 審査番号 16-A090: 曾根 晶子 (成人看護学修 博士後期課程)
「糖尿病患者のフットケアにおけるセルフマネジメントを継続的に支援する外来及び訪問看護師の困難と学習ニーズ」
- ⑩ 審査番号 15-081: 永井 智子 (公衆衛生看護学 助教)
「未熟児・低出生体重児を育てる家族支援のための保健師教育プログラムの開発 —教育プログラム開発の基礎となるインタビュー調査—」
- ⑪ 審査番号 16-A084: 大田 えりか (国際看護学 教授)
「訪問看護を利用している小児の実数調査」
- ⑫ 審査番号 16-A086: 大橋 明子 (精神看護学 助教)
「精神看護専門看護師の対人援助職に対する支援に関する研究」
- ⑬ 審査番号 15-A049: 萱間 真美 (精神看護学 教授)
「精神疾患の医療計画と効果的な医療連携体制構築の推進に関する研究 精神科訪問看護提供体制の現状把握と評価に関する研究」
- ⑭ 審査番号 16-A096: 池田 真弓 (ウィメンズヘルス 博士後期)
「経産分娩後に助産師が内診により行う骨盤底筋回復のための介入 Protocol の検討」
- ⑮ 審査番号 16-A023: 細田 志衣 (在宅看護学 助教)
「造血細胞移植後に慢性GVHDを発症した患者家族支援 家族を対象としたインタビュー調査」
- ⑯ 審査番号 16-A028: 印東 桂子 (基礎看護学 研究生)
「健康相談における「承認」の概念の妥当性の検証」
- ⑰ 審査番号 16-A092: Huffman, Jeffrey John (看護学部基盤領域 助教)
「流暢性向上訓練を組み入れた多読の授業における読みの流暢性の発達」
- ⑱ 審査番号 15-A061: 池口 佳子 (がん看護学・緩和ケア 助教)
「看護基礎教育においてラーニング・アシスタントを行った学生の体験」
- ⑲ 審査番号 15-A067: 大久保 暢子 (看護技術学 准教授)
「日本独自の香りを用いた芳香浴による成人女性のストレス緩和の効果—ユズ、サクラを用いた実験研究—」
- ⑳ 審査番号 15-A050: 亀井 智子 (老年看護学 教授)
「聖路加国際病院に入院する高齢者を対象とした Hospital Elder Life Program in St. Luke's International Hospital (HELP in SL)の開発と混合研究法による評価」
- ㉑ 審査番号 16-A011: 鈴木 ひとみ (看護情報学 修士課程)
「リスク情報の提供におけるグラフィックの効果とヘルスリテラシーとの関連」
- ㉒ 審査番号 16-A095: 鶴若 麻理 (その他 准教授)
「独居高齢者へのアドバンスケアプランニングのプロセスと具体的支援—訪問看護師が高齢者へ意向確認するタイミングの分析を通して」
- ㉓ 審査番号 16-A088: 大久保 暢子 (看護技術学 准教授)
「看護実践における革新的看護技術の普及要素に関する検討」

- ②④ 審査番号 16-A080:萱間 真美 (精神看護学 教授)
「精神科訪問看護における当事者のリカバリーに関連した体験についての研究」
- ②⑤ 審査番号 16-A079:亀井 智子 (老年看護学 教授)
「慢性疾患在宅療養者のヘルスリテラシーを向上する患者参加型テレナーシングシステムの開発と混合研究法による評価(T-CADIH Study)」
- ②⑥ 審査番号 16-A078:青柳 優子 (ウイメンズヘルス 博士後期 課程)
「不妊治療後の妊産婦に対する助産師の倫理的実践と関連要因」
- ②⑦ 審査番号 16-A075:片岡 弥恵子 (助産学 教授)
「産科に携わる看護職を対象とした 虐待予防のための教育プログラムの開発」
- ②⑧ 審査番号 16-A047:松尾 尚美 (看護教育学 博士後期課程)
「看護師の患者アドボカシー実践力:意思決定支援力測定尺度の開発」
- ②⑨ 審査番号 16-A049:高橋 恵子 (PCC 実践開発研究部 准教授)
「市民のヘルス・リテラシー向上をめざした参加型学習プログラムの評価ー健康情報へ適切にアクセスし、評価できる力に焦点をあててー」
- ③⑩ 審査番号 15-A068:大久保 暢子 (看護技術学 准教授)
「サクラセルエキストラクトを用いた芳香浴によるストレス緩和効果の検討」
- ③⑪ 審査番号 16-A087:古賀 郁衣 (精神看護学 修士課程)
「手術が必要な身体疾患を有する統合失調症患者の意思表示に対する看護師の対応」
- ③⑫ 審査番号 14-A092:新福 洋子 (助産学 助教)
「育児支援プログラム「HUG Your Baby」を受講した産後早期の親と子のきずなに対する縦断的研究」
- ③⑬ 審査番号 16-A026:桑原 良子 (老年看護学 助教)
「地域在住高齢者とその家族を対象としたライフレビュー実践と混合研究法による評価」
- ③⑭ 審査番号 16-A073:森 明子 (ウイメンズヘルス 教授)
「がん生殖医療におけるオンコロジーナースの実践のための教材開発:事例集の作成」
- ③⑮ 審査番号 15-A073:吉田 千文 (看護管理学 教授)
「地域包括的視点に基づく看護管理方法論の探究」
- ③⑯ 審査番号 16-A024:青木 頼子 (看護情報学 博士課程後期)
「高齢者本人と家族の意向を尊重した療養場所選択のための意思決定支援ガイドの開発」
- ③⑰ 審査番号 15-A076:小林 京子 (小児看護学 教授)
「小児急性骨髄性白血病(AML)経験者の就学・就労促進に関わる要因と支援に関する研究」
- ③⑱ 審査番号 15-A030:池口 佳子 (がん看護学・緩和ケア 助教)
「実習において生体腎移植患者の語りを聴いた看護学生の体験」
- ③⑲ 審査番号 16-A093:佐藤 直子 (在宅看護学 助教)
「超音波検査法を用いた嚥下機能評価の教育プログラムのフィージビリティ検討」

事務局より、実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により承認、となった。

4. 報告事項:新規申請の承認

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、下記の通り報告された。

整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
17-A007	Health Effects of Secondhand Smoke on Maternal and Perinatal Outcomes in Tomohon City, North Sulawesi, Indonesia	国際看護学	修士課程	鈴木 大地
17-A008	呼吸ケアチーム活動に対する停滞感の現状と対処	急性期看護学	修士課程	小松崎 朗子
17-A009	小児看護学における看護学生への患者安全教育の取り組み	小児看護学	助教	沢口 恵
17-A010	地域特性に応じた保健活動推進ガイドラインの開発-デルファイ調査-	公衆衛生看護学	教授	麻原 きよみ
17-A011	看護学というセカンドキャリア形成に関する教育・学習評価のコホート調査 -学士3年次編入制度と学士2年次編入制度の比較-	助産学	教授	堀内成子
17-A012	周産期女性とのDV被害に関する対話を巡る看護者の経験	助産学	博士後期課程	丸山 菜穂子
16-R094	特発性肺線維症患者の病いと共に生きる体験についての質的研究	助産学	博士後期課程	猪飼 やす子
17-A002	早産児の母親への産後早期の母乳育児支援に関する実情と課題	助産学	博士後期課程	田中 利枝
17-A004	妊娠期の女性が初めて乳児とふれ合うことによる生理学的・心理学的変化	助産学	博士後期課程	園田 希
17-A005	助産師の心的外傷性ストレス体験とワークエンゲイジメントおよびバーンアウトとの関連	助産学	博士後期課程	窪田 杏奈
17-A006	一般不妊治療を受ける女性患者に対する指導管理プログラムの検討	ウイメンズヘルス	教授	森 明子

5. 報告事項:既承認研究の軽微な変更、実施状況報告

既に承認されている研究の審査について、下記の通り報告された。

審議事項	整理番号	研究課題名	所属	職種	研究責任者
変更申請	15-A034	「精神科重症患者早期集中支援管理料」に関する実態調査	看護学研究科	教授	萱間 真美
変更申請	15-A084	陣痛誘発を意図したクラリセージ・ラベンダー、ジャスミンによる足浴前後のオキシトシン変化	看護学研究科	研究員	田所 由利子
変更申請	16-A023	造血細胞移植後に慢性GVHDを発症した患者家族支援家族を対象としたインタビュー調査	看護学研究科	助教	細田 志衣
変更申請	16-A028	健康相談における「承認」の概念の妥当性の検証	基礎看護学	研究生	印東 桂子
変更申請	16-A094	在宅療養中の特発性肺線維症患者の実存的苦痛に関する質的研究	老年看護学	博士後期課程	猪飼 やす子
終了報告	15-004	妊娠 28 週から分娩に至るまでの骨盤位から頭位への自然変換割合とその関連因子	助産学	博士後期課程	東原 亜希子
終了報告	15-A018	出産体験における委員富と疲労の予測と現実のギャップ-無痛分娩(硬膜外麻酔)と非無痛分娩の比較	助産学	修士課程	宍戸 恵理

終了報告	15-A082	就任初期の看護師長の経験学習促進プログラムの開発と評価	看護管理学	助教	倉岡有美子
終了報告	15-A084	陣痛誘発を意図したクラリセージ・ラベンダー, ジヤスミンによる足浴前後のオキシトシン変化	看護学研究科	研究員	田所 由利子
終了報告	16-A014	Transitional Care Needs of Stroke Patients and Family Caregivers at Home After Discharge in an Urban Area in Indonesia: A preliminary study	在宅看護学	博士後期課程	Nia Damiati
終了報告	16-A038	出生前検査受検者に対する看護職の感情と関わり～遺伝診療部門をもたない医療機関の看護職へのインタビュー調査～	遺伝看護学	修士課程	羽賀 充実
終了報告	16-A045	看護実践における安楽の理論化	基礎看護学	准教授	佐居 由美
終了報告	16-A068	妊婦の尿失禁予防に対する骨盤底筋体操に関するリーフレットの作成と評価	助産学	修士課程	池田 彩乃
終了報告	16-A069	在日外国人女性の妊娠期のセルフケア向上を促す映像教材の開発	助産学	修士課程	河野 朗子

6. その他審議・連絡

- ① 委員長より、今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。
- ② 事務局より、個人情報保護法と研究倫理指針の改正について説明があった。

7. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2017年6月20日 18:00～ (1階 大会議室)にて開催。